

平成 25 年度第 2 回「名張市男女共同参画推進審議会」の主な意見

啓発について

<全般>

- ・啓発の効果測定へも目を向けるべき
- ・パンフレットを配る・パネル展示をするだけでなく、実際に参加して体験ができたたり、話し合いができるよう、身近な話題をテーマにした講座をするべき
- ・のぼりを用いた啓発は効果的なので、立てられるときは積極的に活用する
- ・市のモットーやキャッチフレーズを持つことは、男女共同参画の柱になるのでぜひ持つべき
- ・広報に載せられるような話題をみつけたら、広報に載せてもらえるよう担当が積極的に情報提供すべき

<つうしん>

- ・文字数が多すぎる
- ・女性史などのシリーズを載せるのも面白いが、タイムリーな話題も掲載していく方が良いのでは
- ・シリーズ化しているのなら「No. 1」など番号を付ける
- ・振り仮名を振って、小中学生にも読めるようにする
- ・字体をもう少し読みやすいものに変えるべき
- ・もっと多くの方の手にとってもらえるよう、新聞や広報なばりへの折り込みをすればどうか

<DV・デートDV>

- ・卒業時にDVやデートDVについてのパンフレット配布をするだけでなく、出前講座などを用いて授業の一コマに取り入れるのはどうか
- ・実際にDVを目の当たりにしている子どもがいた際の心のケアなど、さまざまな問題があるが、それらをいかにクリアしていくかを考えてほしい

<川柳>

- ・川柳の募集対象を小中学生として、応募者の増加をはかる
- ・川柳の応募方法として、電子メールを活用するとよいのではないかと

男女共同参画に関する市民意識調査について

- ・調査の対象年齢を16歳からとするか20歳からとするかを再考する
16歳からとするならば、意識調査をうまく活用して、その年代への男女共同参画の意識付けとなるような設問内容にする。また、今回何歳からを対象にするにしても、今後長期にわたり、同年代の傾向を調査していくということを念頭において調査して欲しい
- ・個人情報についての設問部分は、どのようなデータを取るのに必要なのか考え、再検討が必要

今後の市の取り組みについて

啓発について

<全般>

- ・啓発の効果測定については、今後の課題として取り組んでいきたい
- ・年に1度名張市男女共同参画推進フォーラムとして、そのような場を設けているので、もっと多くの方に活用していただけるよう、事業周知に努める。
- ・のぼりを活用できる際には活用していく
- ・「生み育てるにやさしいまち」というテーマを実現するため、今後も子育て支援を充実させていくことにより、女性の社会進出を促していきたい
- ・つうしんを活用して、タイムリーな話題を発信していく

<つうしん>

- ・4月号から、いただいた意見を反映し作成していく

<DV・デートDV>

- ・デリケートな問題なので、事業を進めていく際には慎重に取り掛かりたい

<川柳>

- ・来年度の参考にさせていただき、検討する

男女共同参画に関する市民意識調査について

- ・調査対象年齢、設問等いただいた意見を参考に再検討する